

はじめに



「多様な主体が創る、 元気な富士見市の商業」に向けて

本市は、水と緑豊かな自然に恵まれるとともに、首都 30 キロ圏という交通利便性から、住宅都市として発展を続けています。

地域コミュニティの中心として市民の交流を生み、賑いを作り出す場でもあった、商店、商店街は、社会情勢の変化等により、かつての「元気」が失われつつあります。

このような状況の中、平成 27 年 4 月に大型商業施設「ららぽーと富士見」が開業し、「富士見市（ふじみし）」という知名度が向上する反面、市内商業への大きな環境変化が想定されるところです。

このような状況を踏まえ、主に、市内事業者の皆様方との話し合いを基礎に、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 か年計画となる「富士見市第 2 次商業活性化ビジョン」を策定しました。

このビジョンは、富士見市の商業将来像を「多様な主体が創る、元気な富士見市の商業」とし、「元気な事業者、そして地域住民も一体になった商業と地域づくり」「大型商業施設の立地に伴う商業活性化の市全域への波及効果」「市民（消費者）の買い物利便性や暮らしの満足度の向上」への展望を示したものです。

この将来像の実現には、事業者の皆様「自らの考え・実践」、消費者である市民の皆様、農業者や工業者、大学、市などの「多様な主体」との連携・協力が必要であることから、ぜひ、富士見市の商業の元気創造に向けた「オール富士見」での取り組みへの参加をお願いいたします。

そして、この取り組みが富士見市の商業を元気にし、市民の暮らし、満足度の向上にもつながるものと確信しております。

結びに、このビジョン策定にあたり、ご熱心に審議いただきました富士見市産業振興審議会の委員の皆様をはじめ、事業者地域別懇談会にご参加、ご検討いただきました事業者の皆様、各種アンケート調査にご協力、ご参加いただきました市民の皆様に、厚くお礼を申し上げます。

葛城 張 星野 信吾

